

厚生労働科学研究費補助金（子ども家庭総合研究事業）
分担研究報告書

小児慢性特定疾患治療研究事業システムに関する研究
－登録・管理ソフトの開発(医療意見書作成システムの検討)－

分担研究者 齋藤進（日本子ども家庭総合研究所 母子保健研究部主任研究員）

【要旨】 小児慢性特定疾患の登録・管理システムにより収集しているデータの精度向上を目的に、現システムの課題と今後の登録管理システムのあり方を検討した。その結果、今後の医療意見書作成システムの開発については、Windows 7への対応に比べ、前年度に提案したインターネットを使用した方式が適切であると考えられた。今後の課題は、QR コードリーダーの導入方法と運用の実用性の評価であると考えられる。

【キーワード】 小児慢性疾患、登録管理システム、医療意見書、QR コード、インターネット

研究協力者

加藤忠明（国立成育医療センター 成育政策科学
研究部長）
陶山 泰（有限会社スクウ代表取締役）
小山 修（日本子ども家庭総合研究所 研究企
画・情報部長）

A. 研究目的

平成 18 年度から新しい「小児慢性特定疾患の登録・管理システム Ver. 4」（以下、小慢ソフト V4）を開発配布し、より精度の高いデータの収集を進めるため、実施主体（都道府県、指定都市、中核市）のサポートを行っている。そこで、ソフトのインストールや新しいオペレーティング・システムへの対応について検討し、今後の登録管理ソフトのあり方を検討することを目的とした。

B. 研究方法

小慢ソフト V4 のサポート状況と現在の登録管理システムについて、研究者間のディスカッション等により、登録管理システムのあり方について検討した。

C. 結果および考察

1. 今後の登録管理ソフトのあり方

登録管理ソフトの不具合の修正、疾患や実施主体の追加変更等の必要性、多様な機種、複数のオペレーティング・システムのバージョン対応等についてのメンテナンス性の向上を考えると、サーバ上にソフトを置き、使用するシステムが最良である。

課題として、実施主体の担当者へ使用方法やセキュリティに関する研修の必要性が考えられる。

2. 医療意見書作成システム

登録管理ソフトにより作成した医療意見書のプリントアウト時にバーコードや QR コード（マトリックス型二次元コード）を印刷させる方式が、入力の省力化とデータ精度の向上に有効である。

課題は、バーコードリーダーに比べ、QR コードリーダーの価格が高い点や機材の運用についての問題が予測される。

D. 結論

インターネットを利用した登録管理・医療意見書作成システムを開発することが有効である。

【参考文献】

1. 斎藤進、加藤忠明、藤田正則：小児慢性特定疾患登録管理用ソフトの改訂、厚生労働省厚生科学研究「小児慢性特定疾患治療研究事業の登録・管理・評価に関する研究」平成 13 年度研究報告書：233～234、2002
2. 斎藤進、加藤忠明、藤田正則：小児慢性特定疾患登録管理用ソフトの改訂について、厚生労働省厚生労働科学研究「小児慢性特定疾患治療研究事業の登録・管理・評価に関する研究」平成 14 年度研究報告書：192～193、2003
3. 斎藤進、加藤忠明、陶山泰、藤田正則：小児慢性特定疾患登録管理用ソフトの開発について、厚生労働省厚生労働科学研究「小児慢性特定疾患治療研究事業の登録・管理・評価に関する研究」平成 15 年度研究報告書：148～151、2004
4. 斎藤進、加藤忠明、陶山泰、藤田正則：小児慢性特定疾患登録管理用ソフトの開発方針と利用実態、厚生労働省厚生労働科学研究「小児慢性特定疾患治療研究事業の登録・管理・評価・情報提供に関する研究」平成 16 年度研究報告書：134～148、2005
5. 斎藤進、加藤忠明、陶山泰、藤田正則：小児慢性特定疾患登録管理用ソフトの開発、厚生労働省厚生労働科学研究「小児慢性特定疾患治療研究事業の登録・管理・評価・情報提供に関する研究」平成 17 年度研究報告書：142～144、2006
6. 斎藤進、加藤忠明、藤田正則、陶山泰、小山修：小児慢性特定疾患登録管理用システムの課題、厚生労働省厚生労働科学研究「小児慢性特定疾患治療研究事業の登録・管理・評価・情報提供に関する研究」平成 18 年度研究報告書：215～219、2007
7. 斎藤進、加藤忠明、藤田正則、陶山泰、小山修：小児慢性特定疾患治療研究事業システムに関する研究－登録・管理ソフトの現状と課題－、厚生労働省厚生労働科学研究「法制化後的小児慢性特定疾患治療研究事業の登録・管理・評価・情報提供に関する研究」平成 19 年度研究報告書：186～187、2008
8. 斎藤進、加藤忠明、陶山泰、小山修：小児慢性特定疾患治療研究事業システムに関する研究－登録・管理ソフトの開発方針（医療意見書作成システムの検討）－、厚生労働省厚生労働科学研究「法制化後的小児慢性特定疾患治療研究事業の登録・管理・評価・情報提供に関する研究」平成 20 年度研究報告書：193～197、2009